

## II. 市民活動促進支援事業(宝塚市より委託)

委託者	宝塚市
委託期間	2005年4月1日～2006年3月31日
委託金額	8, 100, 750円
委託仕様書	特定非営利の公益活動を行う団体の法人化に向けた相談支援業務
	特定非営利の公益活動を行う団体の法人設立後の運営全般に係る相談業務
	協働のまちづくり推進の基盤である「まちづくり情報センター」整備及び運営管理
	まちづくり協議会等のコミュニティ・ビジネスの相談及び事業化支援
	エコマネー支援業務
	インターネット市民のページ管理

### 1. 特定非営利の公益活動を行う団体の法人化に向けた相談支援業務

宝塚市内に事務所を置く特定非営利活動法人（以下NPO法人）は47団体で、本年度NPO法人の認証を受けた団体は6団体である。

NPO法人申請にかかる相談は、(1)法人の名称を考えているか。(2)定款の目的については特定非営利活動を行うことを主たる目的とした法人であることなどを明らかにするため、①受益対象者の範囲、②主要な事業、③法人の事業活動が社会にもたらす効果、④法人として最終目標を具体的に記載する。(3)特定非営利活動は17種類の活動に限られること。(4)理事は3人以上、監事は1人以上。(5)社員(正会員)は10人以上であること。(6)主たる事務所はどこにするのか。(7)会費の額は幾らにするのか。(7)事業内容。などの項目について確認する。

また、設立認証申請書、設立趣意書、定款、事業計画書、収支予算書などの作成を支援。役員名簿や社員名簿、ならびに、事業計画書と収支予算書との整合性や事業費と管理費の割合などを助言する。法人を設立しようとしている団体が、NPO法をよく理解されていないことが多いため、設立認証申請書の作成に至るまで、相当回数の面談が必要である。

その他、設立総会の議事運営の支援として、議案書や議事録の作成、設立総会のシナリオなど設立総会全般の支援や、設立登記申請書類の作成支援として、登記申請書や登記用紙(OCD)、財産目録の作成、印鑑届出書の作成や法人印鑑の説明などの助言を行った。

宝塚NPOセンターでは、NPO法人の設立認証申請書の作成から設立総会の運営、設立登記申請まで、誠心誠意、親切丁寧に、相談者のペースに合わせて、相談者と一緒に考え解決する姿勢で取り組んでいる。

#### 【効果】

NPO法人設立に関して説明を受けるため、代表者1人又は2～3人で宝塚NPOセンターへ来られた場合、法人設立の基本的な事項・法人化のメリット・デメリット、所轄庁への事業報告、情報公開、法人設立登記等について説明することとしている。しかし、その内容等について持ち帰り、他のメンバーに報告した場合、すべてを説明し切れない場合が多く、メンバーを含めて5人から12、3人で再度説明を求められることが多い。そこで本年度は出張相談形式を取り入れたことが、

いずれの団体も意思統一ができ、メンバーの合意形成が進み立ち上げがスムーズに運ぶケースが増えた。その後、NPO法人設立認証申請書類の作成に取り掛かり、具体的な相談にFAX、電話を通じて進んでいくことになる。今後は出張相談会に積極的に取り組むこととした。

[宝塚市内に事務所を置くNPO法人一覧]

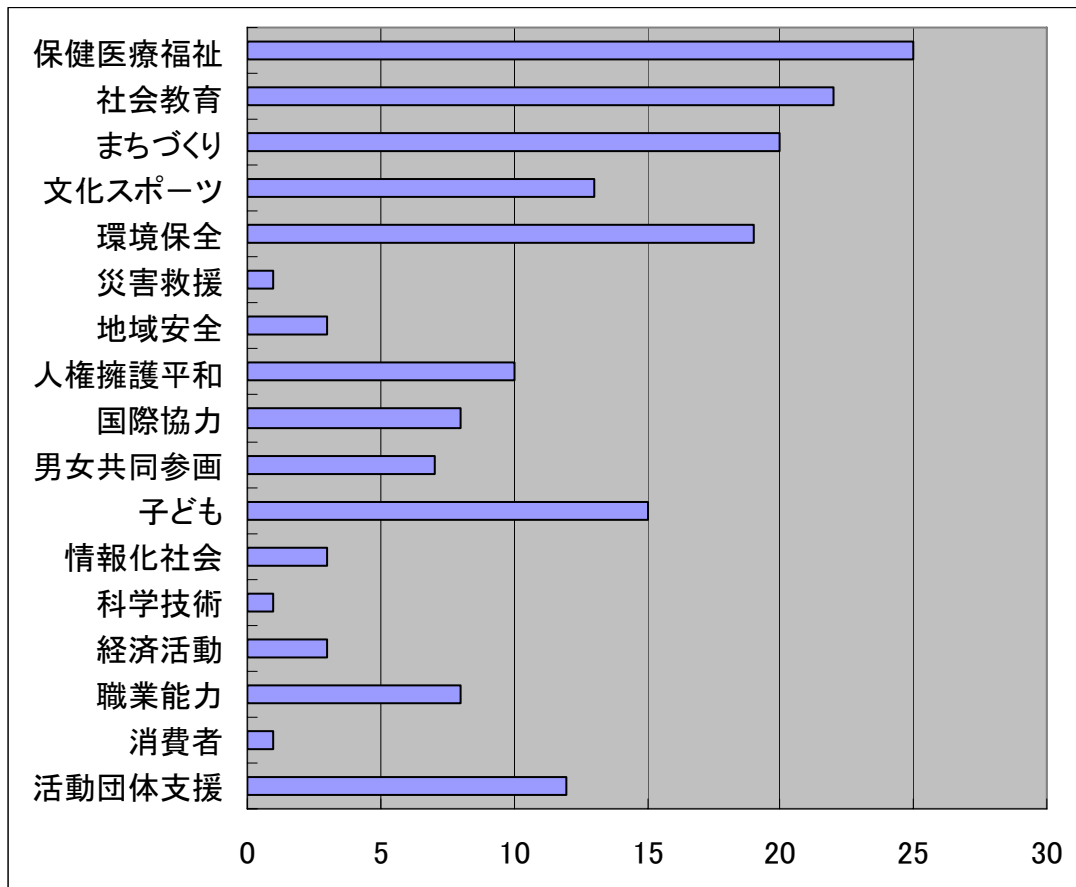
2006年3月末現在

NO	法人設立年月日	団体名
1	1999年 5月 17日	特定非営利活動法人 めふのお家
2	1999年 8月 4日	特定非営利活動法人 国際情報科学協会
3	1999年 9月 1日	特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター
4	1999年 10月 5日	特定非営利活動法人 宅老所光明の家
5	2000年 4月 11日	特定非営利活動法人 兵庫シー・エス・アール
6	2000年 6月 13日	特定非営利活動法人 グッドウィルスポーツライフアシスト
7	2000年 8月 3日	特定非営利活動法人 女性と子どものエンパワメント関西
8	2000年 10月 12日	特定非営利活動法人 シニアパワーを活かす会
9	2001年 2月 14日	特定非営利活動法人 さわやかスポーツクラブ
10	2001年 5月 15日	特定非営利活動法人 PETS FOR LIFE, JAPAN
11	2002年 1月 10日	特定非営利活動法人 イ・キューブ
12	2002年 3月 6日	特定非営利活動法人 市民環境支援団体(所轄庁内閣府)
13	2002年 5月 14日	特定非営利活動法人 緑と花と輝きのまちづくり
14	2002年 9月 5日	特定非営利活動法人 アイウェブ
15	2002年 10月 10日	特定非営利活動法人 人と人とを結ぶ福祉の会 ハロー宝塚
16	2002年 11月 12日	特定非営利活動法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部
17	2003年 1月 9日	特定非営利活動法人 ポレ・ポレ
18	2003年 1月 17日	特定非営利活動法人 エフェ研究所
19	2003年 4月 23日	特定非営利活動法人 コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
20	2003年 4月 30日	特定非営利活動法人 ヘルプ・ネパール・アソシエーション・ジャパン
21	2003年 5月 23日	特定非営利活動法人 器
22	2003年 9月 1日	特定非営利活動法人 さわやか社会教育ブラザ
23	2003年 10月 1日	特定非営利活動法人 経営労務サポートセンター
24	2003年 10月 22日	特定非営利活動法人 グループチャレンジ高齢者を支援する会
25	2003年 10月 31日	特定非営利活動法人 コスモス
26	2003年 10月 31日	特定非営利活動法人 玄プロジェクト
27	2003年 12月 3日	特定非営利活動法人 れいんぼう
28	2004年 4月 26日	特定非営利活動法人 宝塚 NISITANI
29	2004年 5月 24日	特定非営利活動法人 宝塚モナミ会
30	2004年 5月 28日	特定非営利活動法人 ワークネットたからづか
31	2004年 8月 6日	特定非営利活動法人 地域活性化 LA21
32	2004年 12月 1日	特定非営利活動法人 Green Solutions
33	2004年 12月 3日	特定非営利活動法人 日本ハーブティ協会
34	2004年 12月 20日	特定非営利活動法人 科学と市民社会のコミュニケーション
35	2004年 12月 24日	特定非営利活動法人 消費者協会宝塚
36	2004年 12月 21日	NPO法人 グリーンプラネット
37	2004年 12月 24日	特定非営利活動法人 コスモスサービス宝塚
38	2005年 2月 1日	特定非営利活動法人 アイ・アイ宝塚
39	2005年 4月 1日	特定非営利活動法人 いきいきシニアゼミナール
40	2005年 4月 1日	特定非営利活動法人 宝塚市国際交流協会
41	2005年 9月 26日	特定非営利活動法人 ひかり
42	2005年 11月 27日	特定非営利活動法人 おおきな輪

43	2004年	1月	16日	特定非営利活動法人 ロリイポップ
44	2005年	12月	21日	特定非営利活動法人 C. U. P
45	2006年	1月	24日	特定非営利活動法人 ソーシャル・デザイン・ファンド
46			※	兵庫虹の会
47			※	あ・ぷり
48			※	アート・サポート関西

※空欄は法人設立年月日未確認（兵庫県ホームページ3月末現在）

[宝塚市内に事務所を置く特定非営利活動法人の活動分野]



## 2. 特定非営利の公益活動を行う団体の法人設立後の運営全般に係わる相談業務

NPO法人設立後の運営相談については、事業報告、事業の進め方、財源確保、起業相談、役員変更、定款変更、登記後届、などの様々な相談事項が寄せられる。特に事業報告に関しては、新規取得の法人だけではなく、設立して数年経過した法人からの相談が増加傾向にある。NPO法人には事業を行うだけではなく行ってからの説明責任が伴う。法人設立後は関係機関への届出など手続きが多数発生することから、新規の法人取得団体だけではなく、すでに法人設立した団体の事務局スタッフを対象にした、事業報告や定款変更、総会や理事会の運営などに関する実務的な講座を開催し、法人設立後の運営全般に関するサポートを行っている。

実務講座には、スタッフだけではなくその分野の専門家が担当し、親切丁寧によりわかりやすい講座内容になるように努力した。ただし、講座で手続きの流れを一般的に伝えても、手続き発生時点ではまた相談が必要となる場合が多いため、定期的に個別相談にあたるように心がけている。

【効果】

法人設立から年数が経過した団体から、事業報告の作成など事務的な相談が増加している背景には、事業の拡大による人材不足や事業内容の複雑化など様々な要因が考えられる。人材の確保については、本センターの無料職業紹介事業を通じて人材募集の登録を行ってもらい、希望に応じてマッチング支援を行う。また財源確保については、インターネットや情報誌、ひょうごボランティアプラザなどから収集した助成金情報を提供し、必要に応じて助成金申請書類の作成の相談にも個別に対応している。

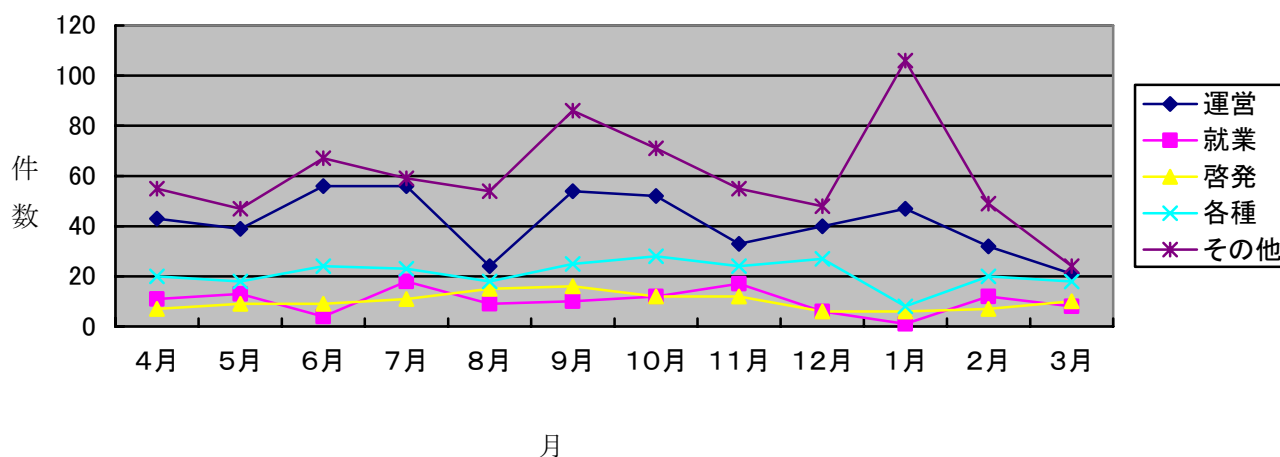
活動する上で広報活動も重要な要素となるので、宝塚NPOセンターが名義後援を行ったり、市の広報紙に掲載依頼したり、あるいはFM宝塚に自ら出演してもらい活動紹介や課題などを直接話してもらうという広報活動をサポートした。

また、活動をより充実させていくためには、同じNPO法人の横のつながりが欠かせない。そのために宝塚NPOサロンにおいて、「協働とまちづくり」をテーマに会合を開催し、市のまちづくり推進課の方をはじめ様々な市内のNPO法人関係者に参加いただきネットワークづくりに貢献した。参加者はお互い顔見知りになると共に情報交換ができることに大きな関心が寄せられており毎回参加者からは好評を得ている。今後の予定として、2006年度には市内のNPO法人が集えるNPO祭り(仮称)などの開催も視野に入れたゆるやかなネットワークづくりの検討を行っていく予定である。

[月別相談件数(宝塚市)]

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営	43	39	56	56	24	54	52	33	40	47	32	21	497
就業	11	13	4	18	9	10	12	17	6	1	12	8	121
啓発	7	9	9	11	15	16	12	12	6	6	7	10	120
各種	20	18	24	23	18	25	28	24	27	8	20	18	253
その他	55	47	67	59	54	86	71	55	48	106	49	24	721
合計	136	126	160	167	120	191	175	141	127	168	120	81	1712

※啓発・・・講演、視察、講座、ボランティアなどに対する相談や問い合わせ。



[媒体別相談件数] ※相談数と媒体別の合計数が同一でないのは、一度の相談に複数の内容があるため。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面談	57	53	53	59	54	59	65	53	36	68	45	26	628
電話・FAX	33	46	58	60	33	49	55	45	44	74	46	28	571
E-mail	1	1	2	4	4	3	2	1	2	7	1	0	28
その他(郵便等)	13	7	9	14	10	12	12	16	8	3	3	3	110
合計	104	107	122	137	101	123	134	115	90	152	95	57	1337

[宝塚 NPO サロン]

市民活動団体、NPO 法人のネットワークづくりの場の提供として、定期的に開催した。今年度は奇数月を「行政との協働」をテーマに、宝塚市まちづくり推進課との対話を通して双方の理解を深める場、偶数月は新たに法人認証を受けた団体のお披露目の場として「認証おめでとう会」を開催した。

No	実施月日	テーマ	内容	参加数
1	6月20日	NPO 法人おめでとう会	NPO 法人紹介	24
2	7月7日	協働を進めるために	参加者による「協働に求めるもの」	11
3	9月27日	協働の要である中間支援組織に望むこと	センターへの要望	10
4	11月17日	協働を考えるラウンドテーブル1	協働を進めるための方策や活動上の課題	11
5	1月19日	協働を考えるラウンドテーブル～NPO の情報発信について～	①情報発信の現状 ②ブログの説明、実践	6
6	3月23日	協働を考えるラウンドテーブル～NPO の情報発信について～	NPO 祭り(仮称)の開催提案	7
			合計	69

(講評)

2005年度の宝塚 NPO サロンでは「協働」を進める情報共有に場として、市内 NPO 法人に意見を求めたところ、活動拠点や研修、講座の場所に苦勞しており、行政へ場の提供などの要望も多かった。また根本的に活動の場を得るための情報が取得できないとの意見が多く寄せられた。そこで各月のサブテーマを「中間支援組織に望むこと」や1月3月を「情報発信」など意見を出しやすく工夫をし、NPO 法人から多くの情報を収集しセンターの中間支援機能の充実を図った。

(効果)

- ・情報発信については、NPO 法人の意見を反映して宝塚 NPO サロン 1月でブログ講座を開催したりして簡易に即時性のある情報を提供できるように支援をした。また期中に FM 宝塚で「市内 NPO 法人の活動紹介」(3月末14法人)や「情報提供番組出演」(3月末9法人)で情報発信、隔月に発送するニュースレターに各 NPO 法人のチラシ織り込みなどの支援をした。
- ・「宝塚 NPO 祭り(仮称)」の提案については最終回に参加した新規の NPO 法人から自発的に声上がり、それに従来からの NPO 法人の賛同もあり 2006年度の秋頃を目標に実施の予定となった。内容は子どもコンサートを通じて市内 NPO 法人のブースも設置して NPO 活動を広く知ってもらうものである。
- ・前記は「NPO 法人設立した次の段階ではネットワークが大切」と訴えて 5年間続けてきたサロンの新しい動きであった。当センターが古参ではあったが、先に阪神北地域の 2市でのネットワークが認められているなか、今年度市内 NPO 法人に参集してもらい互いに面識を持つ機会ができたことで、ゆるやかなネットワークが形成されつつある。

[広報機会の提供]

FM宝塚から NPO 活動の紹介を定期的に行う時間枠の提供があり、市内の NPO 法人に出席希望をとりゲスト出演として団体紹介を行った。

(市内 NPO 法人活動紹介)

FM宝塚 (83.5MHz) 「話してみれば」ゲストコーナー (宝塚市提供)

原則毎月第3日曜日 18:00～19:00 の番組内の約 20分

収録・取材月日	内 容	出 演 者
4月12日	NPO 活動-NPO とは？	事務局職員

5月10日	NPO 設立時の壁-資金・場所・人・物・広報	事務局職員
6月14日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・開講座の紹介、ボランティア募集	特・さわやか教育プラザ 副理事長 岸本 英紀
7月12日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・「スター・ペアレンティング講座等の紹介、会員 ・ボランティア募集	特・女性と子どものエンパワメント関西 事務局長 森山 順子
8月16日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・「青少年のための科学博覧会 サイエンス・フェア 2005」 紹介、会員募集	特・科学と市民社会のコミュニケーション 理事長 北浜 榮子
9月15日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・寄付の依頼-寄付の詐欺の事件以来、寄付が半減しているため	特・ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン 理事長 川崎 千里
10月12日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・宝塚環境マネジメントシステムの普及、ボランティア募集	特・地域活性化 LA 2 1 副理事長 伊澤 信雄
10月25日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・任意団体から NPO 法人になり、自主事業の充実と寄付の依頼	特・宝塚市国際交流協会 相談役 森脇 洋子
11月16日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・24 時間日常生活見守り駆け付け事業の充実	特・器 理事長 浦塚 ゆかり
12月13日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・活動の拠点を地元宝塚でも活動希望	特・森と地域のゼロエミッションサポート倶楽部 副会長 小島 正樹
1月11日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・課題 講師の発掘等	特・いきいきシニアゼミナール 理事長 野津 健治
1月24日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・市内視覚障害者への利用広報/ガイドヘルパー募集	特・アイアイ宝塚 所長 田中 峻治
2月14日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・会員募集、利用者への広報、市内で活動する上での情報収集が課題	特・グループチャレンジ高齢者を支援する会 理事長 辻 義臣
3月14日	宝塚市内 NPO 法人紹介-活動紹介 ・障害者自立支援法施行に伴う諸問題、精神障害者への理解、家族交流会・相談会	特・コスモス 事務局職員 二宮 満雄

[FM宝塚 市内NPO法人情報提供]

団体紹介とは別枠で、活動の告知時間枠への出演依頼があり、適宜イベントや講座など開催に合わせて団体からの広報依頼のある記事を紹介し、出演可能な団体は自ら告知を行っている。

「たからづかシティインフォメーション」15:30~17:00 の番組内の約30分

依頼日	NPO 法人名	出演者	内容
9月12日	特・地域活性化 LA 2 1	伊澤 信雄	10月15日「宝塚環境マネジメントシステム構築講座」
10月18日	特・ひかり	山本 薫資	NPO 法人 設立報告
11月15日	特・C. U. P	田川 貴子	12月開講「10代のためのボランティア講座」
11月30日	特・国際情報科学協会	国谷 佳代	12月2/3日「絵画、音楽と It の饗宴〜伝統と未来」
12月23日	特・ロリィポップ	松岡 伸幸	1月28/29日「雪上運動会ツアー」
1月6日	特・ネパールヘルプアソシエーション	高田 和三	1月15日講演会開催のお知らせ
1月31日	特・コスモス	田中 文英/大槻 真樹	活動紹介、交流会・相談会開催お知らせ
2月21日	特・宅老所 光明の家	平 真弓	3月11/12日「これからの地域福祉

			を考えるフォーラム in 宝塚」内容紹介、広報
3月7日	特・宝塚モナミ会	和田 和子	3月28/29日春期講座(パソコン講座『ペイントを使いこなそう』『デジカメとその応用』)紹介

### 3. 協働のまちづくり推進の基盤である「まちづくり情報センター」整備及び運営管理

[まちづくり協議会ブログ研修会]

宝塚市内にある20のまちづくり協議会を対象にブログによる情報発信技術の習得の研修を実施した。協議会のメンバーにブログによる情報発信の手法を習得してもらい、イベントや行事案内など各地域の情報を発信していただくことによって、まちづくりに貢献していくことが主なねらいである。

講師：特・宝塚NPOセンター職員

場所：特・宝塚NPOセンター 生きがいしごとサポートセンター阪神北

内容：携帯、パソコンを使ってブログを作成

研修時間：毎回14:00～16:00

ブロック	まちづくり協議会名称	研修月日		参加人数
1	仁川コミュニティ	1	27	1
		2	3	1
	高司小学校区まちづくり協議会			
	良元地区まちづくり協議会			
	光明地域まちづくり協議会			
2	末成小学校地域まちづくり協議会			
	まちづくり協議会コミュニティ末広			
	西山コミュニティ協議会	1	27	1
	ゆずり葉コミュニティ			
3	一小校区コミュニティ			
	すみれガ丘小学校区まちづくり協議会			
	宝塚小学校区まちづくり協議会			
4	売布小学校区まちづくり協議会	2	10	1
	小浜小学校区まちづくり協議会			
	美座地域まちづくり協議会	1	27	4
5	安倉地区まちづくり協議会			
	長尾地区まちづくり協議会	2	10	1
6	中山台コミュニティ	1	27	3
	山本山手地区まちづくり協議会			
	長尾台小学校区まちづくり協議会	2	3	1
7	西谷地区まちづくり協議会			

### 4. まちづくり協議会等のコミュニティ・ビジネスの相談及び事業化支援

コミュニティビジネスの起業希望者に対して、法人化、起業、運営全般に関する相談・支援を行った。コミュニティ・ビジネスは、地域の課題やニーズに対して、地域の資源を活用し事業化していくことで課題や問題を解決していこうとする地域社会に貢献する事業である。相談については、法人化の相談件数が一番多くて、続いて多いのは運営相談である。主な相談内容としては、NPO法人の申請書類の書き方や理事変更登記の仕方、あるいは、スタッフのレベルアップのための職員研修の開催に関連することや財源確保のための助成金情報などの相談内容が寄せられた。

【効果】

職員研修については、阪神NPO連絡協議会の主催で開催したリーダーおよび事務職員のための1泊研修を紹介、ともにリーダーとしての意識の変化や事務職員としての事業報告書作成など実務的な知識の習得が出来たと大変好評であった。また、助成金についてはひょうごボランティアプラザの助成制度や兵庫県のコミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業(コミュニティ・ビジネス離陸応援事業)などの紹介を行い、申請書作成のサポートを行っている。支援費制度の変更で1割負担となるため、組織運営を安定化させるために寄付や会費の増強やボランティアでの運営体制が強化させている。

[団体別相談回数]

コミュニティ・ビジネスに関する相談									
	法人申請	登記申請	定款変更	登記後届	運営相談	役員変更	事業報告	起業相談	合計
NPO	44	13	8	3	43	18	17	2	148
任意団体	49				19			2	70
個人	1							18	19
株式会社					4				4
有限会社	4				8				12
行政					1				1
合計	98	13	8	3	75	18	17	22	254

## 5. エコマネー支援業務

エコマネー導入6年目に入った今年度は、年度の活動目標を市民への啓発効果を高めて会員増強を図ることとした。エコマネーを気軽により広く市民に知ってもらうために、会員外への感謝の気持ちを表すエコマネーとして「ありがとう券」を発行し、会員拡大に取り組んだ。

参加地域の拡大も積年の課題となっているが、今年度高司小学校区のまちづくり協議会から地域のイベントにエコマネーを活用できないかとの相談が寄せられた。地域での活用を考えるきっかけとして、実験的にエコマネー「ありがとう券」が利用された。

昨年度、宝南ショプスの協力によりエコポイント制の社会実験において福祉と環境がテーマとして掲げられた経過があり、今年度も宝塚市中心市街地の活性化事業と連携して市民啓発に取り組んだ。市民にエコマネーの利用について、気軽に組み入れるものであると体験してもらい啓発効果を高めるため、中心市街地の清掃活動を行い、参加者にエコマネー「ありがとう券」を贈呈する。「ありがとう券」は中心市街地の活性化事業の社会実験「宝塚都市ブランドコミュニケーション」のオープンカフェにおいて利用できるしくみとする。清掃活動には、市内で活動するNPO法人、環境グループから3団体の協力が得られた。

また、兵庫県立宝塚高校の全校人権学習会にエコマネーがテーマとして取り上げられた。甲子園大学一色教授のコーディネートでエコマネーについて事務局が説明を行った。生徒のアンケートではエコマネーを知っている生徒も一割近くあり認知が進んでいることがうかがえた。

県立宝塚高等学校 全校アンケート集計結果より抜粋

	1年	2年	3年	合計
ヅカを知らない	173	166	166	505
ヅカを知っている	4	15	39	58
ヅカを使用したことがある	3	2	2	7

視察・ヒアリング等



7月5日	龍谷大学学生
11月29日	伊勢原市議員 神奈川ネットワーク運動
1月13日	堺市政策研究会
3月2日	都市再生戦略チーム

#### 宝塚エコマネー運営委員会記録

4月例会	4月13日
協議内容	今年度の活動について 名簿の取り扱いについて エコマネー「ありがとう券」の発行 啓発イベントの実施について
参加者	一小校区コミュニティ、特・めふのお家、すみれ、中洲イカス会、まちづくり推進課

5月例会	5月11日
協議内容	エコマネー「ありがとう券の発行」について エコマネー啓発イベント（都市再生と連携した啓発活動「クリーン作戦」の実施）
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、すみれ、光が丘

6月例会	6月8日
協議事項	クリーン作戦現地見
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、すみれ、光が丘 宝塚市都市産業活力総務課、都市デザイン課、まちづくり推進課、市民

7月例会	7月12日
テーマ	クリーン作戦内容について 実施日時：社会実験開始直前の日曜日
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、すみれ、光が丘 まちづくり推進課

8月例会	8月10日
テーマ	クリーン作戦内容について チラシ作成
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、光が丘、まちづくり推進課

9月例会	9月7日
テーマ	クリーン大作戦内容について まちづくり推進課からの新たな取り組みの提案について
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、まちづくり推進課 宝塚エコネット、特・コスモスサービス宝塚、兵庫県職員インターン2人

10月例会	10月5日
テーマ	クリーン大作戦最終打合せ
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、まちづくり推進課 宝塚エコネット、特・コスモスサービス宝塚、兵庫県職員インターン2人

11月例会	11月16日
テーマ	クリーン大作戦反省、新たな提案（宝塚市） ・活動に限界、支援の見直しの時期、地域運営委員会の自立、換金性を持たせるなどの新たな仕組みの検討を。 高司まちづくり協議会からエコマネー活用の相談
参加者	中山台コミュニティ、一小校区コミュニティ、特・めふのお家、まちづくり推進課

12月例会	12月7日
テーマ	新規展開へ向けての検討 まちづくり推進課確認事項 ①換金性について・・・可能性について検討進めることが可能か打診有り ②市からの金銭的な支援は・・・利用者数が右肩上がりにならないとなかなかむずかしい。 ③指定管理者制度について・・・南口会館で使用を検討しているが他ではない。 高小校区まちづくり協議会、高小PTAがイベント「クリーン&もちつき大会」を12月3日に実施し、「ありがとう」券（別紙参照）を200枚使用
参加者	中山台コミュニティ、特・めふのお家、光が丘、特・めふのお家、まちづくり推進課

1月例会	1月18日
テーマ	今年度の活動報告について
参加者	中山台コミュニティ、特・めふのお家、まちづくり推進課

2月例会	2月15日
テーマ	次年度へ向けて ・地域毎にまちづくりの道具として継続していくことを確認、運営委員会は隔月開催とする。
参加者	中山台コミュニティ、すみれ、光が丘、特・めふのお家、まちづくり推進課

## 6. インターネット市民のページ管理

2005年度の総リンク数は合計で110件となり、特に企業、個人からのリンクが特に多い結果となった。この「市民のページ」も2006年3月末をもって終了となり、4月以降については、新しく構築しようとしているサイトのリンクコーナーに移動し掲載する予定ですが、追って同サイトへのリンクを継続されるかどうかについては、事務局より改めて照会させていただき、新たな情報発信のツール開発と運営に携わっていくものとする。

### [作業一覧]

月	内 容		件数：個人団体	
4月	HP内容確認	リンク作業	前年度105件	新規：1
5月	HP内容確認	リンク作業	新規：2	

6月	HP内容確認	リンク作業	変更：1
7月	HP内容確認	リンク作業	新規：1 変更：4 削除：1
8月	HP内容確認		
9月	HP内容確認	リンク作業	削除：1
10月	HP内容確認	リンク作業	新規：1
11月	HP内容確認		
12月	HP内容確認	リンク作業	新規：1 削除：1
1月	HP内容確認	リンク作業	新規：1 変更：2
2月	HP内容確認	リンク作業	新規：1
3月	HP内容確認	リンク作業	なし

[2005年度「市民のページ」リンク数]

分野	団体数
1. 市民活動・NPO・NGO	9
2. ボランティアグループ・団体	5
3. まちづくり協議会・自治会	5
4. 文化・芸術団体／施設	7
5. スポーツ団体／施設	4
6. 福祉団体／施設	4
7. 教育機関／施設	5
8. 病院・医療機関	5
9. 組合・団体	5
10. 企業	32
11. 個人	26
12. その他	3
合計	110

### Ⅲ. 生きがいしごとサポートセンター阪神北事業

はじめに

宝塚 NPOC が「生きがいしごとサポートセンター阪神(北)」事業を受託して4年が経過しました。その間、多くの起業を支援し、また、職業能力開発講座も行ってきました。17年度の実績は、起業団体が34団体でした。4年間で合計108団体になります。ここで大きな問題が起こってきました。それは、創業した団体の運営危機です。NPO法人や有限会社、任意団体などでCBを起業した団体が、最初は元気に事業展開をしていたものの、時間の経過とともに活動が停滞していくことがあるからです。

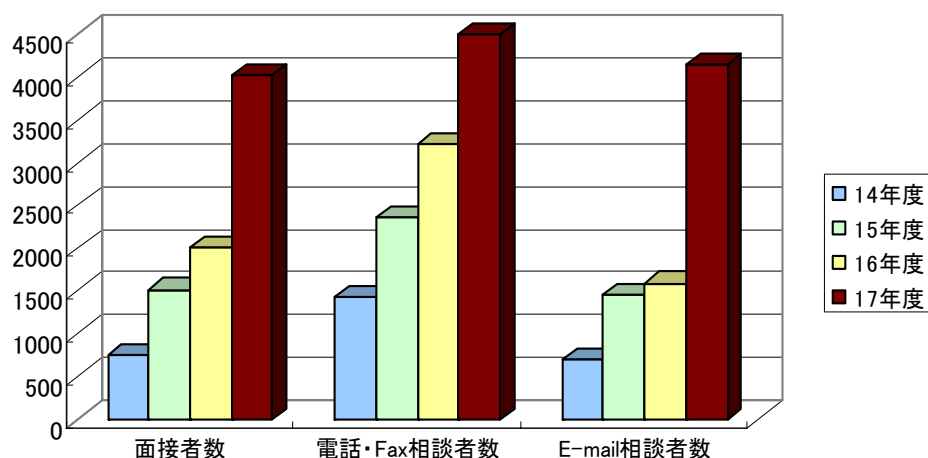
その原因は新しい企画が生まれにくいことだと分析しています。それは企業でも同じだと思うのですが、創意工夫しながら年々進歩していくことが重要です。今後そのような支援を生きがいしごとSC阪神北としてどう指導していくかが課題です。

また、組織運営に余分なお金をかけて過ぎているか、ボランティアベースでかけないかの両極に偏っているのも気になります。

専門家に頼むことをしないで自力でがんばっている団体を見ていると、それをこちらがサポートするにはたいへんな時間がかかります。専門家を派遣して指導してもらおうのですが、なかなかマスターまでには至りません。コンサル事業を駆使して、それら団体のレベルアップを図っているところです。

また、ある団体は、収益が上がっているにも関わらず専門的な仕事にもお金はださないというすべてボランティアベースの考えのまま止まっています。スタッフの賃金もそういう団体は低く抑えており、スタッフは不満を抱えています。

そのような問題を解決し、NPOやCBが地域の課題を解決していけるように、生きがいしごとSC阪神北では、16年度途中より「個別相談」を重視してきました。17年度はNPOやCBの活動現場に積極的に出向き、またセンターでも繰り返し相談を受けて、各団体のペースにあわせた支援を行ってきました。その成果が、面接者数の増加や各種相談の増加につながりました。新規の起業相談も増えていますし、ブログを使ったNPO・CBの情報発信など、中間支援NPOとして質の高いサポートサービスを提供できていると実感しています。



## 1. 事業実績一覧

宝塚 NPOC として生きがいしごと SC 阪神北事業を 4 年間実施し、平成 17 年度は 14・15・16 年度を上回る実績を残すことができました。新規の相談はもちろん、昨年度よりの継続の相談も増加してきています。なかでも、起業に関する相談の増加と面接者数の増加が顕著でした。

### 1. 活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来場者数	201	144	248	260	238	190	191	173	266	208	227	222	2568
HPアクセス件数	1008	1202	1125	1275	825	1760	2260	2832	4715	5723	8265	12701	43691
計	1209	1346	1373	1535	1063	1950	2451	3005	4981	5931	8492	12923	46259

注) 来場者数には、「5. 講演会・セミナー等」の「参加者数」を含めないこと。

注) 平成15年度末のホームページアクセス件数 16,431

注) 平成16年度末のホームページアクセス件数 27,765

注) 平成16年9月よりブログも計上 8月末アクセス件数 6500 →10月より移行;10月末アクセス件数1570

→ブログ版URL <http://voluntary.jp/hmpo-net/>

### 2. うち入門相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接者数	188	208	308	342	389	379	455	354	327	373	305	387	4015
電話・Fax相談者数	258	259	403	433	342	409	378	436	415	376	392	396	4497
E-mail相談者数	153	171	290	277	332	370	405	423	443	434	447	393	4138
計	599	638	1001	1052	1063	1158	1238	1213	1185	1183	1144	1176	12650

### 3. 求人求職状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規求職者数①+②	21	28	38	70	64	60	49	63	29	47	56	61	586
うち起業希望者数①	10	18	34	55	57	43	41	54	25	37	48	52	474
うち求職者数②	11	10	4	15	7	17	8	9	4	10	8	9	112
新規求人数	9	1	5	20	93	69	38	22	24	47	12	11	351
従事者数③+④+⑤	3	11	11	7	11	15	11	41	1	0	3	0	114
うち就職成立者数③	1	1	1	2	4	5	6	6	1	0	1	0	28
うち有償ボランティア成立数④	2	0	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	9
うち無償ボランティア成立数⑤	0	10	10	5	6	9	0	35	0	0	2	0	77

注1) 「従事者数」のうち、「就職成立者数」には、最低賃金を上回る報酬が支給される仕事に従事した者の人数を、「有償ボランティア成立者数」には、最低賃金を下回る報酬が支給される仕事に従事した者の人数を、「無償ボランティア成立数」には、報酬が支給されない仕事に従事した者の人数をそれぞれ記入すること。

注2) 無料職業紹介事業については、別紙により報告すること。

### 4. 起業団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	2	2	7	1	6	4	4	3	2	2	1	34
従事者数	0	20	9	32	7	48	16	25	46	18	24	2	247
うち自ら起業した者	0	18	7	31	3	42	12	16	38	12	11	2	192

注1) 起業団体数は、起業化の事業体制が整い、①法人として認証された、②独立した活動拠点(事務所)を設置した、③報酬を支給する従事者を雇用した、等により、事業を開始した団体を計上すること。また、従事者数は、「自ら起業した者(報酬受け取りの有無は問わない)」と「当該団体の業務に従事し、最低賃金を上回る報酬を支給された者」を合わせた数を記入すること。

注2) 起業団体については、①団体名、②団体事務所所在地、③団体代表者名、④事業内容、のわかる資料を添付して下さい。

## 5. 講演会・セミナー等

	名 称	開催日	開催場所	講 師 名	参加者数
1	起業支援講座(1) 助成金とコミュニティ・NPO講座 「ファンドレイジングについて」	5月13日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康	18
2	起業支援講座(2) 助成金とコミュニティ・NPO講座 「ケーススタディ：セクシュアリティカウンセラー神戸」	5月13日	生きがいしごとサポート センター阪神北	谷家 優子	18
3	起業支援講座(3) 助成金とコミュニティ・NPO講座 「コミュニティ・NPOの事業計画」	5月20日	生きがいしごとサポート センター阪神北	高見 一夫	17
4	起業支援講座(4) 助成金とコミュニティ・NPO講座 「事業計画書とファンドレイジング」	5月20日	生きがいしごとサポート センター阪神北	高見 一夫	17
5	起業支援講座(5) 助成金とコミュニティ・NPO講座 「ケーススタディ：みるくつく宝塚」	5月20日	生きがいしごとサポート センター阪神北	寺本 弘伸	17
6	起業支援講座(6) ひょうごボランティアプラザ 助成金説明会	6月20日	ソリオ1 会議室	阪神NPO連絡協議会 ひょうごボランティア プラザ	72
7	CB・NPO交流サロン(1) 「情報交流サロン& NPO法人認証おめでとう会」	6月20日	ソリオ1 会議室	阪神NPO連絡協議会	23
8	起業支援講座(7) 助成金申請書の書き方講座	7月15日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康 山本 麗子 小野 靖子	7
9	コミュニティ・ビジネスと情報発信 NPOのためのブログ講座①	7月21日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康 高瀬千秋	4
10	コミュニティ・ビジネスと情報発信 NPOのためのブログ講座②	7月22日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康 高瀬千秋	5
11	NPO法人会計実務相談(1) 会計・はじめの1歩講座 「会計力チェックリスト」	7月28日	生きがいしごとサポート センター阪神北	増本有砂	21
12	NPO法人会計実務相談(2) 会計・はじめの1歩講座 「源泉徴収・決算ほか」	8月11日	生きがいしごとサポート センター阪神北	増本有砂	15
13	ボランティアセミナー	8月29日	宝塚男女共同参画センター	近畿ろうきん 阪神NPO連絡協議会	42
14	コミュニティ・ビジネス リーダー研修会(宿泊研修)	9月3日 ～4日	県立六甲山いこいの宿 六甲保養荘	黒木賢一	20
15	コミュニティ・ビジネス スタッフ研修会(宿泊研修)	9月11日 ～12日	(特)国際エンゼル協会 東条研修センター	山本麗子 吹曾幸雄 石倉則雄	28
16	CB・NPO交流サロン(2) コミュニティビジネスフェア2005 地域を活かすしごとの創造	9月19日	神戸ハーバーランド スペースシアター	基調講演 石毛宏典	2000
17	コミュニティ・ビジネスと情報発信 NPOのためのブログ講座③	10月11日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康 高瀬千秋	5
18	コミュニティ・ビジネスと情報発信 NPOのためのブログ講座④	10月13日	生きがいしごとサポート センター阪神北	金森 康 高瀬千秋	4
19	福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座(1) 「労務から始まるマネジメント」	10月27日	生きがいしごとサポート センター阪神北	社会福祉労務士 有田裕彦	18
20	福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座(2) 「トラブルをおこさない就業規則とは」	10月27日	生きがいしごとサポート センター阪神北	社会福祉労務士 有田裕彦	18
21	福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座(3) 「ケーススタディ：(特)友-友」	10月27日	生きがいしごとサポート センター阪神北	小林房子	18
22	福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座(4) 人材活用マネジメント 「ケーススタディ：(特)国際エンゼル協会」	11月14日	(特)国際エンゼル協会	浅野博之	15
23	福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座(5) 人材活用マネジメント 「ケーススタディ：(特)さわやか北摂」	12月12日	生きがいしごとサポート センター阪神北	久恒千里	16
24	コミュニティ・ビジネスと情報発信 NPOのためのブログ講座⑤	12月16日	りびんぐるーむ	金森 康	6
25	NPO法人設立実務(1) 年度末“忘れずに”やること講座 「報告手続きの概要」	3月9日	生きがいしごとサポート センター阪神北	吹曾幸雄	24
26	NPO法人設立実務(2) 年度末“忘れずに”やること講座 「必要書類の作成方法」	3月9日	生きがいしごとサポート センター阪神北	吹曾幸雄	24
27	NPO法人設立実務(3) 年度末“忘れずに”やること講座 「会計・税務・決算」	3月9日	生きがいしごとサポート センター阪神北	丸山美鈴	24
					2496

## 2. 事業実施に当たっての環境

宝塚 NPOC は、生きがいしごと SC 阪神北事業実施にあたり、各種既存事業と連携しながらサービスの充実・向上に努めてきました。中間支援組織としての実績と経験が生きがいしごと SC 阪神北事業運営において十分に活かされたと考えています。

### (1) 宝塚 NPOC 本体事業との連携

#### ①就業支援相談

宝塚 NPOC の無料職業紹介事業と連携し、地域で CB や NPO へ就業を希望する者、及び CB・NPO で地域の人材を雇用する際の求人に対してマッチング機能を提供しました。

#### ②インターンの受け入れ及びボランティア機会の提供

CB・NPO のスタッフ、及び CB・NPO にて就業を希望する者をインターンやボランティアとして受け入れ、運営の中核を担う人材の育成を行いました。

#### ③NPO 基礎講座及び NPO サロンの開催

CB 起業にともなう法人化においては NPO 法人の設立が多数を占めている。CB・NPO についての基礎知識について習得する機会として毎月開催される NPO 基礎講座及び NPO サロンを提供しました。

#### ④各種ネットワークの活用

阪神 NPO 連絡協議会との連携（次項参照）、阪神間の各自治体や阪神北県民局、既存の起業支援団体等との連携関係が築かれており、生きがいしごと SC 阪神北の運営に活用しました。

### (2) 阪神 NPO 連絡協議会

2000 年 4 月に発足した阪神 NPO 連絡協議会（阪神間の NPO のネットワーク組織）は事務局を 2003 年度から宝塚 NPO センターが担当している。毎月例会を開催し、研修や情報交換、NPO の啓発活動などに取り組んでいる。生きがいしごとサポートセンター阪神北では、このネットワークによる直接的な現場の状況や蓄積された情報を活用することで阪神間のコミュニティ・ビジネスや NPO に対して効果的なサポートサービスを提供している。

[定例会の開催：ネットワークづくり]

月	日	開催場所	内容	参加人数
4	11	生きがいしごとサポートセンター阪神北	平成 16 年度活動報告 平成 16 年度会計報告 17 年度の活動計画の決定 年間例会スケジュールの決定	16 人
5	9	生きがいしごとサポートセンター阪神南	ろうきんパートナーシップ制度の説明と 募集についての協力体制づくり 宿泊研修(9・10月)実行委員募集 広報の新提案(サンケイリビング誌との連携)	12 人
6	20	宝塚ソリオ 1-3 階 第 1 会議室	ひょうごボランティア基金の助成制度説明会 NPO 法人認証おめでとう会	56 団体 72 人 24 人(重複あり)
7	25	ばれっと川西	宿泊研修(9・10月)案の決定 「個人復興史」サポーター募集の説明会	15 人
8	29	宝塚男女共同参画センター	近畿ろうきんボランティアセミナー 参画共同出前会議についての説明会	42 人 12 人(重複あり)

			宿泊研修(リーダー・スタッフ共)最終確認	
9	3 4	六甲保養荘	リーダー研修会	18人 20人(重複あり)
9	11 12	国際エンゼル協会東条研修センター	スタッフ研修会	27人 23人(重複あり)
10	17	西宮市市民活動センター	リーダー・スタッフ研修ふりかえり 給与振込みの提案(ろうきん)	12人
11	14	国際エンゼル協会	人間関係マネジメント Q&A	8人
12	12	生きがいしごとサポートセンター阪神北	次年度にむけて活動提案	8人
1	16	生きがいしごとサポートセンター阪神北	連絡協議会運営方針の再検討 各団体で困っている事 Q&A(病児保育について)	9人
2	20	生きがいしごとサポートセンター阪神北	行政との協働について(兵庫県参画協働課担当者 を交えて意見交換)	9人
3	13	三田市まちづくり協働センター	来年度の活動計画の決定	12人

#### [研修会の開催]

今年度はフォーラムよりもスタッフのスキルアップ研修をして欲しいという要望が多かったため、阪神間の NP016 団体により構成された実行委員会を構成し、参加対象を「リーダーのみ」と「事務局スタッフのみ」と分け、1泊2日の宿泊研修を9月に2回開催した。

月	日	場所	内容	人数
9	3 4	六甲保養荘	がんばりすぎて疲れ果てたリーダーのための1泊研修会	18人 20人(重複あり)
9	11 12	国際エンゼル協会東条研修センター	活動をしっかり支える事務局スタッフのための1泊研修会	27人 23人(重複あり)

#### [阪神 NPO 連絡協議会参加団体]

- 宝塚市 (特)めふのお家, (特)宅老所 光明の家・中州の家, (特)ペット・フォー・ライフ・ジャパン,  
(特)宝塚 NPO センター, 生きがいしごとサポートセンター阪神
- 尼崎市 (特)シンフォニー, (特)アップストリーム障がい者支援センター
- 西宮市 (特)日本災害救援ボランティアネットワーク, (特)コンソレーション・ネットワーク  
(特)ブレインヒューマニティー
- 伊丹市 (特)バリアフリーミュージックガーデン, (特)あおぞら保育園, (特)国際エンゼル協会
- 三田市 (特)保育ネットワーク・ミルク
- 川西市 (特)さわやか北摂, 市民事務局かわにし
- 猪名川町 (特)さわやか緑花クラブ

<p>【リーダー研修の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務に忙しく、単発の研修には参加する機会がありませんでしたが、かえって宿泊研修だったので思い切って時間が取れました。内容</li> </ul>	
---	--



も求めていたものズバリだったのでとても良かったです。こういう研修は年に1度は必要だと思いますので、ぜひ来年も開催してください。

- ・リーダーになると団体内に同じレベルで相談できる人がいないので、今回参加してなによりも悩みを共有できたのがうれしかった。
- ・2日目のワークショップでやった「自分の団体に必要なものは？」について出た答えを帰ってからスタッフに話し、さっそく解決に向けて動く事にしました。ストレス解消体操もみんなに教えて、役立てています。
- ・変わったテーマの研修だったので「あんまり疲れ果ててはいないけど…」と思って参加しましたが、気がつかない間に疲れていたんですね。
- ・カウンセリング的な内容があつて自分と団体の状態がよくわかりました。じっくり物事を考える時間が持てたこともあつて、解散の時にはすっきりした気分になれたのがうれしかったです。

【スタッフ研修の感想】

- ・設立総会が終わったばかりの団体ですが、2日間みっちり勉強させていただいて、不安がだいぶ解消されました。これからもどうぞよろしく願いたします。
- ・支援される側から今度は支援する側となったので、みなさんの悩みや知りたいことがたくさん聞けてよかったです。
- ・決算書の読み方が知りたいと思って参加しました。1回ではわからないということがわかったことが収穫でした。しっかり勉強していきます。
- ・これまで言われた事をただ消化していた感じでしたが、団体運営の1年間の流れがよくわかりました。計画をたてて実施し、きちんと振り返りをする事の大切さを実感しました。こういう研修は他のスタッフにも受けて欲しいです。



〔近畿ろうきん「NPOパートナーシップ制度」と連携したNPOへのボランティアマッチング実績〕

名前	受入数	活動期間	活動地域	活動日数
(特)シンフォニー	3	2005年9月1日～2006年2月28日	尼崎市	60
(特)コンソレーション・ネットワーク	3	2005年9月1日～2006年2月28日	西宮市	60
(特)くつろぎの家らく	3	2005年9月1日～2006年2月28日	西宮市	60
(特)宅老所光明の家	1	2005年9月1日～2006年2月28日	宝塚市	20
(特)市民事務局かわにし	3	2005年9月1日～2006年2月28日	川西市	60
子どもがつくる夢ネット	3	2005年9月1日～2006年2月28日	宝塚市	60
(特)宝塚NPOセンター	2	2005年9月1日～2006年2月28日	宝塚市	40
合計	18			360

### (3) その他の連携

#### ①サテライトの開設

川西（川西市民事務局と連携）にてサテライトを開設し、毎月定期的に出張相談を行いました。その他にも、三田市や社町、三木市などの地域でも法人設立をはじめ各種出張相談を行い、ネットワークを拡大しつつサポートセンター機能を拡充してきました。

#### ②交流会の開催

講座をニーズ別にし、講座終了後等に、参加者との交流会を開催しました。また、阪神 NPO 連絡協議会関連では、宿泊型の研修会開催という形式で参加者との交流を深めました。

		開催日	場所	参加人数
1	交流会 (1)	6月20日	ソリオ1会議室	24
2	交流会 (2)	8月29日	宝塚市男女共同参画センター	42
3	交流会 (3)	9月3日	兵庫県立六甲山いこいの宿六甲保養荘	18
4	交流会 (4)	9月11日	(特)国際エンゼル協会東条研修センター	27
5	交流会 (5)	12月12日	生きがいしごと SC 阪神北	16
6	コミュニティ・ビジネスフェア 2005	9月19日	神戸ハーバーランドスペースシアター	2000
計				2127



### 3. 事業の具体的実施内容

#### (1) コミュニティ・ビジネス等での就業を希望する者の開拓・把握・活用

生きがいしごと SC 阪神北の就業相談者総数は 620（平成 14 年度よりの累計）、平成 18 年 3 月末時点の有効登録者数は 49 となっています。就業希望者に対しては、下記の方法で新規開拓と継続的な情報提供を行いました。

##### 【平成 17 年度新規就業相談者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規求職者数	11	10	4	15	7	17	8	9	4	10	8	9	112
新規求人数	9	1	5	20	93	69	38	22	24	47	12	11	351
従事者数③+④+⑤	3	11	11	7	11	15	11	41	1	0	3	0	114
うち就職成立者数③	1	1	1	2	4	5	6	6	1	0	1	0	28
うち有償ボランティア成立数④	2	0	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	9
うち無償ボランティア成立数⑤	0	10	10	5	6	9	0	35	0	0	2	0	77

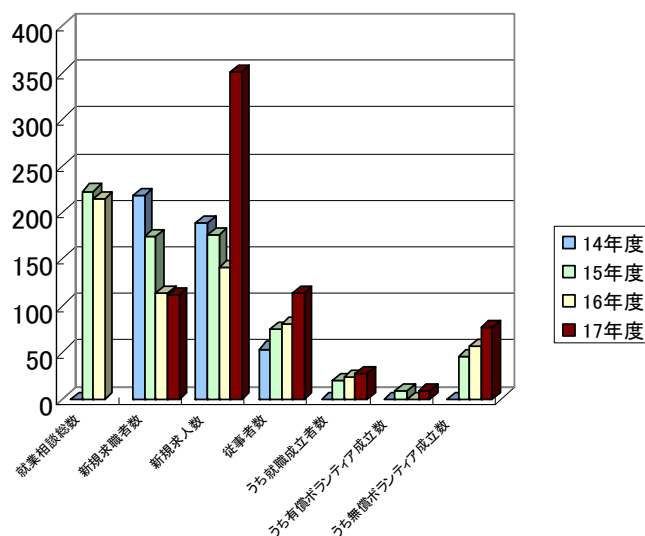
注1)「従事者数」のうち、「就職成立者数」には、最低賃金を上回る報酬が支給される仕事に従事した者の人数を、「有償ボランティア成立者数」には、最低賃金を下回る報酬が支給される仕事に従事した者の人数を、「無償ボランティア成立数」には、報酬が支給されない仕事に従事した者の人数をそれぞれ記入すること。

##### 【過去 3 年間の就業相談実績（右図）】

(注) 14 年度数字ゼロは集計項目が無かったため

生きがいしごと SC 阪神北では、緊急雇用関連の仕事や一般企業のアルバイトなど、継続性やCB性に欠けるその場限りのマッチングではなく、生きがいしごとでのマッチングを心がけました。

キャリアアドバイザー有資格者を担当として配置し、個別対応を充実させたことで、求人数や従事者数が増加しました。



#### 1) 就業を希望する者の開拓

- ① キャリアアドバイザー有資格者を配置し、キャリアカウンセリングも併せた就業相談を行うことで、就業相談者及び求人元事業者の満足度を高めることができ、結果として求人の増加やマッチング（従事者数）の増加につながりました。

- ・ 高瀬千秋（毎週土曜日、～12月）、布谷由美子（毎週水曜日、～2月）、田渕由佳利（常勤、2月資格取得）

- ② 「求人・求職マッチング・サロン」の開催

交流会 (2)	8月29日	宝塚市男女共同参画センター	42人
交流会 (4)	9月11日	(特)国際エンゼル協会東条研修センター	27人

- ・ 起業家交流会などで、CBやNPOの経営者と就業希望者のマッチングに努めました。

- ③ 阪神北県民局労政課，宝塚市勤労対策課等の就職相談業務と連携して就業相談業務を行いました。
- ④ 就業支援系の CB や NPO との連携；連携講座やマッチング
- ・ NPO 法人さわやか社会教育プラザ，NPO 法人就業・創業支援協会と連携し，実施しました。
- ⑤ 一般広報活動（機関紙，報道，ホームページ，インターネット，その他）
- ・ 新聞，行政機関広報紙，地域のミニコミ誌のほか，FM 宝塚等の電波などを活用し，広く情報を公開し，あわせてボランティア等を広く募集しました。
  - ・ NPO 向けのブログを導入し，生きがいしごと SC 阪神北及び関係 NPO の情報公開に大きな成果がありました．・・・平成 16 年度 11,334 →平成 17 年度 43,691
  - ・ その他，情報コーナーの設置，ニュースレター（年 6 回発行），メールマガジン「生きがいしごとと通信」，イベントや講演会におけるパネル展示なども行いました。
- ⑥ サテライト・出張相談窓口の開設
- ・ 川西市 場所 パレットかわにし 連携 NPO 法人市民事務局かわにし

5 月 7 日	NPO 法人市民事務局かわにし
6 月 4 日	小規模作業所，老人ホームに芸能や笑いを提供する会，市民事務局かわにし
8 月 6 日	川西再発見
11 月 1 日	川西再発見，NPO 法人市民事務局かわにし
11 月 15 日	NPO 法人市民事務局かわにし，NPO 法人 C.U.P
2 月 14 日	NPO 法人市民事務局かわにし，NPO 法人 C.U.P

- ・ 伊丹市公民館；開催せず（相談申し込みなし）
- ・ 阪神北 NPO ハウス；随時開催

## 2) 就業を希望する者の把握・名簿管理

- ③ 「業務カード・データベース」に基づく，希望者の登録とデータベースによる管理
- ・ 相談を受けるごとに更新・蓄積されていく「業務カード・データベース」を用いて，常時，各種情報とのマッチングを行いました。
  - ・ 17 年度より新規提案していた「キャリアカウンセリングシート」のデータベース化については，業務カードのデータベース化により対応しました。



- ② 個人情報・機密情報の管理
- ・ 登録に使用する個人情報「相談者登録データベース」については，独立した PC にデータを保管し，紙ベースの名簿とともに事務所にて施錠の上，管理しました。

## (2) コミュニティ・ビジネス等での就業を希望する者への支援

就業希望者に対する支援も後述の起業希望者に対する支援と同じように「個別対応」を基本としました。求職相談者に自信を取り戻す機会と最低限のスキルを身につける機会を提供できるように心がけました。

### 1) CB, NPO 関係のしごと情報等の収集・提供

次の通り実施しました。

- ① CB, NPO 関係を中心とした求人情報の収集・提供
  - ・ 起業支援先 CB や経営支援先 CB に対する求人情報の開拓
  - ・ ホームページやメールマガジンを通じて迅速に提供する
  - ・ サロンにも求人情報を公開掲示する
  - ・ 登録者に対する情報提供は、データベースを活用して適任者に個別提供 (E-mail, FAX, TEL) する
  - ・ ニュースレターにも各種情報を掲載する
- ② 交流会等における求人・求職マッチングの実施
- ③ 就業支援系の CB や NPO との連携

### 2) コミュニティ・ビジネス等に係る無料職業紹介の実施

次の通り実施しました。

- ① キャリアアドバイザー有資格者を配置し、キャリアカウンセリングも併せた就業相談を実施
- ② 阪神北県民局や宝塚市との連携、就業支援系の CB や NPO との連携
- ③ 無料職業紹介事業を通じたサポート
- ④ 実務者養成連携講座：簿記・会計講座、パソコン関連講座など

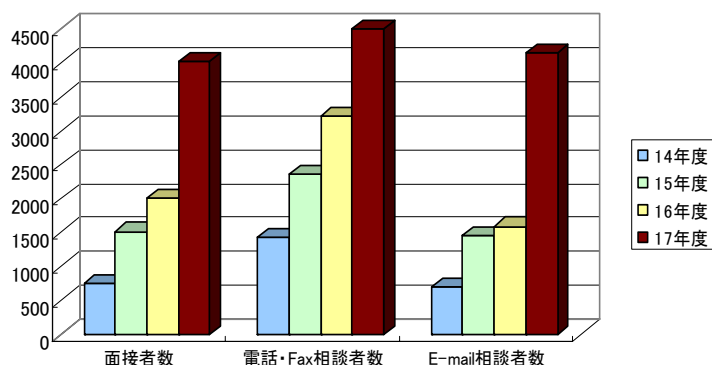
外部機関と連携することでプログラムの充実を図り、就業支援系講座として6講座(受講者数29名)を実施しました。

●補足 連携講座等					
1	Excelかんたん会計	5月21～ 28日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	3
2	簿記3級	5月31日～ 8月2日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	9
3	簿記3級	6月16日～ 7月21日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	3
4	PC簿記	6月16日～ 7月28日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	2
5	Word/Excel基礎	7月2日～ 7月3日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	9
6	Word/Excel応用	7月12日～ 7月24日	宝塚市男女共同参画センター	(特)さわやか社会教育プラザ	3
連携講座 計 (申込者数ベース)					29

### (3) コミュニティ・ビジネス等を自ら起こそうとする者への支援

#### 1) 起業関連実績と起業支援態勢

平成 17 年度の起業関連実績は次の通りです。起業団体数は 16 年度と同水準となりましたが、新規起業希望者や繰り返しの起業・経営相談者が大幅に増えており、依然として起業相談のニーズが高いといえます。平成 17 年度は、講座主体のサービスから、個別対応へとシフトさせたことで、リピーターが大幅に増加し、面接者数の大幅増加（16 年度 2,009 人→17 年度 4,015 人）など顧客満足が高い成果をあげることができました。

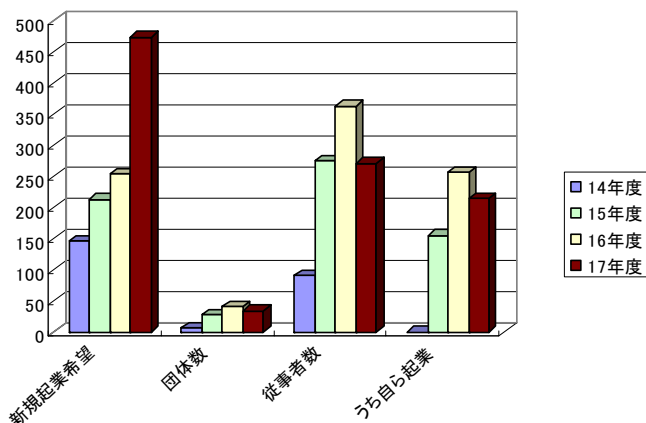


【平成 17 年度 起業関連実績】

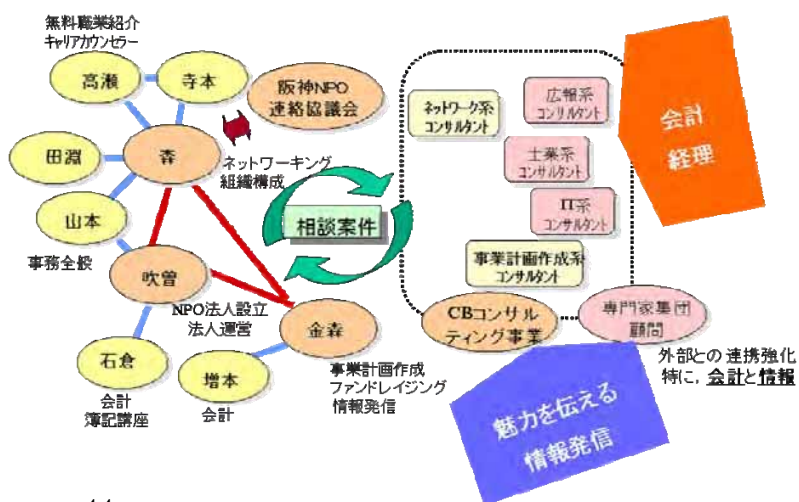
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規起業希望者数	10	18	34	55	57	43	41	54	25	37	48	52	474
団体数	0	2	2	7	1	6	4	4	3	2	2	1	34
従事者数	0	20	9	32	7	48	16	25	46	18	24	2	247
うち自ら起業した者	0	18	7	31	3	42	12	16	38	12	11	2	192

注1) 起業団体数は、起業化の事業体制が整い、①法人として認証された、②独立した活動拠点（事務所）を設置した、③報酬を支給する従事者を雇用した、等により、事業を開始した団体を計上すること。また、従事者数は、「自ら起業した者（報酬受け取りの有無は問わない）」と「当該団体の業務に従事し、最低賃金を上回る報酬を支給された者」を合わせた数を記入すること。

下図のように、森、吹曾、金森を中心に、案件の特性に応じてチームを構成し、相談にあたりました。また、4 年目となり初めて CB コンサルティング事業を最大限活用することができ、外部のコンサルタントとも連携しつつ、柔軟な起業・経営相談を行うことができました。



また、次頁の起業相談マニュアルは、CB の起業相談を受ける際のポイントをまとめたものです。宝塚 NPOC では、過去 3 年間の運営実績から、既存の中小企業診断士などコンサルタントの視点とは異なる、CB に合った起業支援ノウハウを蓄積してきました。同時に、士業や有資格者と多く面談し、講座や CB コンサルティング事業を通じて、CB の現場に通じたコンサルタントを確保し、起業支援サービスを常に改善してきました。これらは、4 年間の生きがいごと SC 阪神（北）事業運営の大きな成果です。



過去4年間の生きがいごととSC阪神(北)運営経験から、CBの起業希望者に対する支援には、ケースバイケース(=個別相談)で起業希望者にとって大きな負担になっている業務・課題を解決し、起業希望者が彼等の顧客と向き合っ、核の部分であるサービスの質の向上に起業希望者たちがエネルギーを集中できる環境を整えることから始まります。起業団体のルーツや起業時に置かれている状況は、大きく分けて5タイプあり、17年度に5回以上相談を受けた起業46組織で分類すると次のようになります。

**【純粋な起業】**

**■8団体**

WithKids, ケアフライト, ソーシャル・デザイン・ファンド, スマイルウエイ, 仕立て屋MIKI, 帝愛, デイナモ, マスカット,

**【ボランティアグループに属する個人が起業する】**

**■1団体**

さわやか社会教育プラザ

**【同一の職種から起業する】**

**■5団体**

いたみタウンセンター, おおきな輪, 国際落語振興会, 阪神まちづくりネットワーク, ひよこ

**【既にグループがあり、活動を拡大する】**

**■15団体**

介護保険, 支援費事業者への移行などで多い。

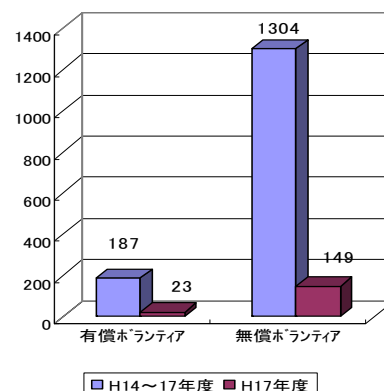
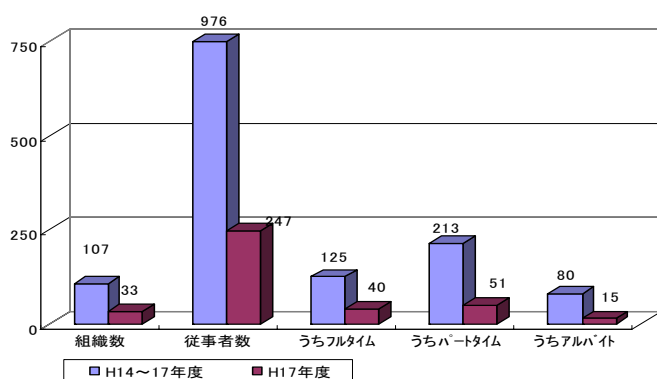
アイ・アイ宝塚, 芦屋メンタルサポート, かなで, コスモス, コンソレーションネットワーク, 教育支援ネットワーク未来, 消費者協会宝塚, 白ゆり会, とことこ, NOLA, 陽だまり, 兵庫虹の会, みらい, よつ葉会, ワークネットたからづか

**【同じ問題・関心を共有しているグループが新たに組織を立ち上げる】**

**■17団体**

アートサポート関西, アリランはんしん, おでかけ支援隊, 川西再発見, CUP, キッピーフレンズ, きららの森, さんびいす, 市民事務局かわにし, シニアサポート宝友, ドリーム優美, にーず, 人間行動科学研究会, はなみずき, 兵庫県健康管理士会, めふのお家, れいんぼう

事業コンセプトの整理に始まり、法人設立にかかる支援、会計システムの構築、助成金申請支援、情報発信にかかる支援、社会保険や労働保険の加入手続き助言など、事業内容や組織構成に応じて起業支援を行いました。同時にそれぞれの組織が抱えている課題、人材、解決できていること・できていないこと、解決できそうなこと・解決が無理なこと、業務分野、実績、リーダーのバイタリティなど、ケースバイケースでノウハウを蓄えながらきめ細かなサービスを積み上げてきた起業実績が次の通りです。



平成 14～16 年度起業団体一覧

年月	団体名	法人格	分野
■平成14年度			
2002.6	人と人とを結ぶ福祉の会ハロー宝塚	NPO	介護
2002.8	さわやか北摂	NPO	介護
2002.8	おしゃれ de げんきに 訪問ヘアーカットサービス	NPO	ケアサービス
2002.8	brush Up 編集部	任意	メディア
2002.11	コンサルレーション・ネットワーク	NPO	文化・芸術
2002.12	(特)明石NPOセンター	NPO	中間支援
2002.12	いきいき介護支援センター	有限	介護
■平成15年度			
200306	さわやか社会教育ブラザ	NPO	教育・職業訓練
200306	(特)CAPセンター・JAPAN	NPO	子供
200306	チャレンジャー	任意	ケアサービス
200307	コスモス(精神障害者家族会)	NPO	障害者
200307	くつろぎの家らく	NPO	介護
200307	こがめ	任意	障害者
200307	ベッツフォアライフ (龍野の任意団体とコラボ)	NPO	セラピー
200307	KOBE Petit "童夢" Field	任意	文化・芸術
200307	(有)しえあーど	有限	介護
200307	グループチャレンジ 高齢者を支援する会	NPO	ケアサービス
200307	小田川さん(アートセラピー)	任意	セラピー
200307	NPO法人 器	NPO	介護
200307	ベッツフォアライフ ドクタードッグ事業	NPO	セラピー
200308	NPO法人 ウェルビーイング・アミーゴ	NPO	介護
200309	れいんぼう	任意	障害者
200311	NPO法人 バイオマスフォーラムたんば	NPO	環境
200311	NPO法人 就業・創業支援協会	NPO	教育・職業訓練
200311	NPO法人 玄プロジェクト	NPO	教育・職業訓練
200311	NPO法人 男女共同参画ネット尼崎	NPO	中間支援
200311	保育施設わらべ	任意	保育
200311	(有)くおら	有限	介護
200311	寿衣を縫う会	任意	ケアサービス
200311	NPO法人 保育ネットワークミルク・よこやま保育園事業	NPO	保育
200312	NPO法人 ハートフル	NPO	障害者
200402	中州の家	NPO	障害者
200402	PASネット	NPO	障害者
200403	西宮がすきやねん	NPO	障害者
■平成16年度			
200404	NPO法人 愛逢	NPO	介護
200404	Mom's Zone	任意	文化・芸術
200404	NPO法人 宝塚NSITANI	NPO	公共施設管理
200404	菅野陽子 リサイクルショップ	任意	環境
200404	あまっ子みらいっ子	NPO	子供
200405	アリラんはんしん	NPO	介護
200405	ワークネット宝塚	NPO	公共施設管理
200406	NPO法人男女共同参画ネット尼崎 尼崎女性センター運営事業	NPO	公共施設管理
200406	NPO法人各駅停車	NPO	障害者
200406	NPO法人イーサポート協会	NPO	教育・職業訓練
200406	NPO法人宝塚モナミ会	NPO	ケアサービス
200406	NPO法人にーず	NPO	障害者
200406	子育て支援スペース みるくっく宝塚	NPO	子供・保育
200407	さんびいす	NPO	子供・教育
200408	仕立て屋MIKI	任意	障害者
200409	訪問介護所心に光を((有)中心社)	有限	介護
200410	教育支援ネットワーク未来	NPO	子供・教育
200410	NPO法人 ICCC	NPO	障害者
200410	NPO法人 NSC2000	NPO	子供・教育
200410	NPO法人 ぼけっと	NPO	障害者
200410	NPO法人伝統的町並みおよび建築支援機構もえぎ	NPO	文化・芸術
200410	NPO法人 豊岡市手をつなぐ育成会	NPO	障害者
200410	NPO法人 関西イーエルダー	NPO	教育・職業訓練
200411	NPO法人グリーンソリューションズ	NPO	環境
200411	NPO法人 日本ハーブ協会	NPO	文化・芸術
200411	(有)びーす・わん	有限	介護
200412	NPO法人スマイルサポートセンター	NPO	介護
200412	NPO法人科学と市民社会のコミュニケーション	NPO	教育・職業訓練
200412	NPO法人消費者協会宝塚	NPO	消費者保護
200501	NPO法人ふたかた	NPO	障害者
200502	NPO法人アイ・アイ	NPO	障害者
200502	マイスター工房宝梅	任意	まちづくり・交流
200502	道旗良枝 コミュニティ講座事業	任意	教育・職業訓練
200503	NPO法人 宝塚市国際交流協会	NPO	まちづくり・交流
200503	NPO法人くぬぎ	NPO	障害者
200503	NPO法人 芦屋メンタルサポートセンター	NPO	障害者
200503	NPO法人 めふのお家	NPO	介護
200503	有限会社クルーズ	有限	メディア
200503	NPO法人森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部	NPO	環境
200503	高齢者問題を考え行動する会	任意	介護

(注) 平成14・15年度の団体名について、平成16年3月末時点で法人格を取得している団体については法人名を記載している。



## 平成 17 年度起業団体一覧

■平成17年度			
200505	NPO法人 神戸NPOセンター	NPO	公共施設管理
200505	NPO法人 市民事務局かわにし	NPO	中間支援
200506	NPO法人 ドリーム優美	NPO	まちづくり・交流
200506	NPO法人 いたみタウンセンター	NPO	まちづくり・交流
200507	子どもがつくる夢ねっと	任意	子供・教育
200507	NPO法人 スポーツクラブFALCO	NPO	スポーツ
200507	STEP 会計相談室(NPO法人さわやか社会教育プラザ)	NPO	教育・職業訓練
200507	Office Mate	個人	中間支援
200507	良子のかげはし工房	個人	まちづくり・交流
200507	NPO法人 芦屋労働110番	NPO	教育・職業訓練
200507	NPO法人 ケアフライト	NPO	災害
200508	(株)セイコー警備	株式	安全
200509	丸山税理士事務所	個人	中間支援
200509	地域における緊急課題/社会的ニーズに“すぐに役立つ”窓口事業 (NPO法人市民事務局かわにし)	NPO	まちづくり・交流
200509	10代専用性の情報サイト(NPO法人キララ)	NPO	子供・教育
200509	教職員向け虐待防止プログラム・ワークショップ事業 (NPO法人 CAPセンターJAPAN)	NPO	子供・教育
200509	阪神バスマップ実行委員会	任意	まちづくり・交流
200509	JEEVA	任意	セラピー
200510	ありた社会保険労務士事務所	個人	中間支援
200510	きららの森	任意	子供・教育
200510	パステルハウス	任意	情報技術
200510	有限会社 ケアステーションマスカット	有限	介護
200511	NPO法人 おおきな輪	NPO	介護
200511	NPO法人 兵庫県健康管理士会	NPO	健康
200511	勝浜 智代	個人	メディア
200511	りびんぐるーむ	任意	まちづくり・交流
200512	NPO法人 CUP	NPO	子供・教育
200512	NPO法人 白ゆり会	NPO	障害者
200512	地域安心お助けネット	任意	まちづくり・交流
200601	NPO法人 よつ葉会(夕オ工房)	NPO	障害者
200601	NPO法人 Social Design Fund	NPO	中間支援
200602	NPO法人 陽だまり	NPO	障害者
200602	NPO法人 兵庫虹の会	NPO	障害者
200603	With Kids	任意	子供・教育

なお、起業団体の紹介については、下記 Web にも掲載しております。

■阪神 NPO ネットワーク Blog <http://voluntary.jp/hnpo-net/>

## 2) 具体的な起業支援方法

宝塚 NPOC では、法人設立全般の支援をマニュアル化（右図）し、誰にでも分かるように易しく具現化したことで、法人設立にエネルギーをとられていた団体の負担を大幅に取り除くことができています。起業の第1歩が法人設立から始まる団体が多いのですが、そこが分からないままに時間を取られ、前に進めない団体が非常に多く、それは今もなお大きな課題となっています。なぜ法人化が必要か、地域の課題は何か、事業を起こす動機は何なのか、誰のためにその事業を行うのか、一つ一つ確認しながら、相談者のペースに合わせてサポートしています。相談者からの評価も高く、大きく実績も伸びています。生きがいしごと SC 阪神北では、特定非営利活動法人の設立認証申請書の作成から設立総会の運営、設立登記申請まで、誠心誠意、親切かつ丁寧に相談者のペースにあわせて、相談者と一緒に考え解決する姿勢で取り組んできました。



### 【 法人設立支援の成果 】

本年度は、前年度に引き続き、特定非営利活動法人の設立・運営相談等が増加しました。

17年度中に法人設立・起業された団体 **34**、設立認証申請書が受理された団体 5、申請書類作成中の団体 18 となっています。(3月31日現在)。これらは、いずれも宝塚 NPOC 作成の法人設立マニュアル・フロッピーに基づい

### 【 法人設立支援の成果 -具体的内容について- 】

17 年度中の相談内訳は、これまでの法人設立件数の増加に伴って、法人設立申請 257 件、運営相談 175 件、事業報告 40 件、登記申請 41 件、起業相談 33 件、役員変更 32 件、定款変更 16 件、登記後届 13 件、合計 607 件で対前年度比 55 件(10.0%)の増加となりました。

なお、法人申請で 10 件の減、定款変更で 5 件の減、登記申請で 36 件の減、登記後届で 22 件の減となりましたが、運営相談で 23 件の増、事業報告で 40 件の増、起業相談で 33 件の増、役員変更で 32 件の増となり、差し引き 55 件の増となりました。

### 【 STEP 1 法人設立認証申請書の作成支援 】

- (1) 設立認証申請書, 設立趣旨書, 定款の目的, 活動の種類及び定款の事業名との整合性をチェック.
- (2) 定款, 設立趣旨書, 事業計画書, 収支予算書等の作成支援.
- (3) 役員名簿, 社員名簿, 就任承諾書, 定款附則, 設立総会議事録と住民票の記載が同一かをチェック.
- (4) 事業計画書と収支予算書との整合性, 事業費と管理費の割合(設立当初の事業年度及び翌事業年度ともに特定非営利活動に係る  
事業の支出規模は, 支出総額の 2 分の 1 以上であることが認証の基準)
- (5) 法人を設立しようとする団体が, NPO 法をよく理解していないことが多いため, 設立認証申請書の作成に至るまでに, 相当回数の面談等が必要。(1 団体当たり平均 8 回の面談が必要であった.)

### 【 STEP 2 設立総会議事運営の支援 】

- (1) 設立総会の案内, 議案書の作成支援
- (2) 議事録の作成支援
- (3) 設立総会のシナリオ作成支援
- (4) 設立総会の提案理由作成支援
- (5) 相談の中でも, 総会・理事会の運営に不慣れな役員が多いため, 設立総会への提出議案の書き方, 議事の語り方など議事運営を含めて支援が必要であった.

### 【 STEP 3 設立登記申請書作成支援 】

- (1) 設立登記申請書作成支援
- (2) 登記用紙(OCR)作成
- (3) 財産目録作成
- (4) 認証書・定款・財産目録, 就任承諾書・設立総会議事録等の原本  
証明の記載方法指導.
- (5) 印鑑届出書の作成支援.

### 【 STEP 4 定款変更認証申請書類の作成支援 】

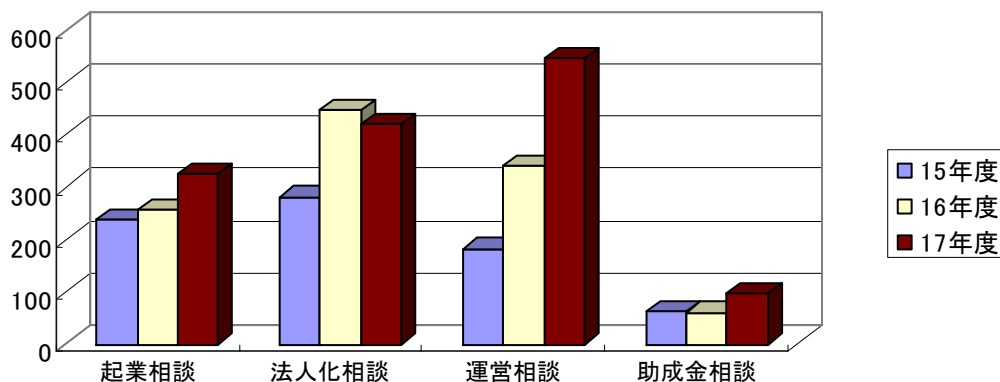
法人設立件数の増加に伴って, 法人設立時には未定であった事業が具体化するなど, 主に事業内容の追加・変更の相談件数が新たに増加した。

例えば, 身体障害者のための移動介護事業の他に介護保険法に基づく訪問介護事業を追加するなど, 事業を拡大発展させるための定款変更認証申請書, 総会議事録作成, 変更後の定款, 2年分の事業計画書・収支予算書等の作成支援が増加した。

### 【STEP 5 変更登記申請書類の作成支援 】

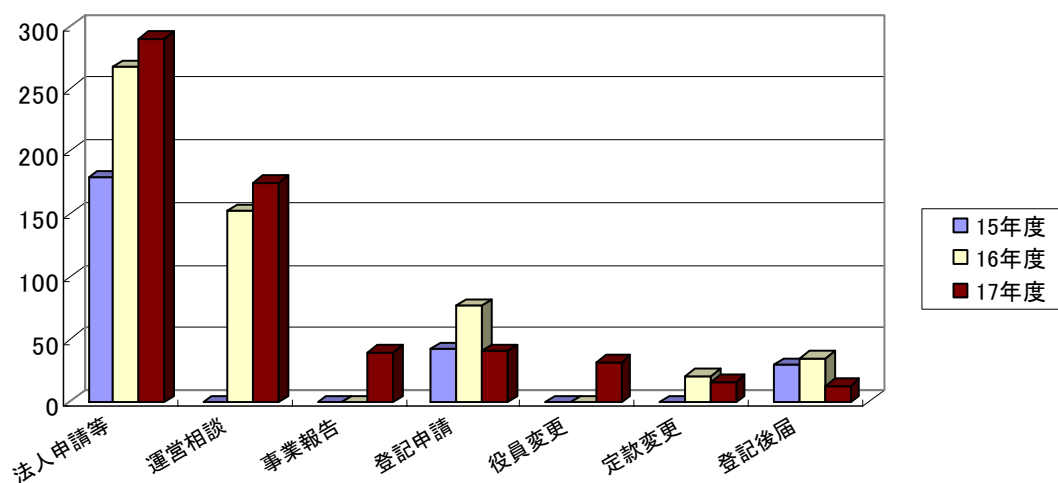
下図は、本年度の起業・運営相談を相談内容別にまとめたものです（※件数ベースの数字であり、人数ベースではない）。運営相談の割合が相対的に増加し、起業団体が新規に事業を立ち上げるケースも増えてきています。

起業相談:件数ベース(※人数ベースではない)



また、下図は NPO 法人設立・運営相談の詳細についてまとめたものです。こちらでも、NPO 法人の事業報告作成や役員変更の相談などの増加が目立ち、設立から運営へ相談内容の変化があきらかになっています。17年度は、法人申請等（NPO 法人を前提とした起業相談を含む）290 件（47.7%，月平均 24.2 件（16 年度 22.2 件））、運営相談 175 件（28.8%，月平均 14.6 件（16 年度 12.7 件））、事業報告 40 件（6.6%，月平均 3.3 件（16 年度集計していない））、登記申請 41 件（6.8%，月平均 3.4 件（16 年度 6.4 件））、役員変更 32 件（5.3%，月平均 2.7 件（16 年度集計していない））、定款変更 16 件（2.6%，月平均 1.3 件（16 年度 1.8 件））、登記後届 13 件（2.2%，月平均 1.1 件（16 年度 1.8 件））という状況です。

NPO 法人設立相談:件数ベース(※人数ベースではない)



### 3) 講座（コミュニティ・ビジネス・ゼミナール）の開催

過去3年間の生きがいしごと SC 阪神の運営実績から、起業相談者が必要としているコンテンツは、次の通りです。

- ①理屈ではなく現場の問題や経験からの苦悩が伝わる講座であること
- ②組織の基本である「人間関係」をより良くするアイデアがあること
- ③助成金の申請書やNPO 法人認証申請書など、考え方ではなく、作りこむことができ形として出来ること
- ④実際に持ち帰って実践できること
- ⑤新しい人と人とのつながりができること

生きがいしごと SC 阪神北では上記の内容に配慮した講座を通じて起業希望者のサポートを行いました。

講座タイトル	<b>起業支援講座1「助成金とコミュニティビジネス講座」(5回)</b>
テーマ	ビジネスプランの作成を通じて、助成金申請なども視野に入れながら、自身の事業内容を再確認する。
趣旨	助成金申請などを視野に入れて、ビジネスプラン作成のポイントを説明する。コミュニティ・ビジネスのビジネスプランで重要なこと、すなわち、いかに想いを伝えるか、マルチ・ステークホルダーの拡大イメージ、プレゼンのポイント整理、黒字化のメドなどについて。
成果	助成金の概念説明だけではなく、前半には他者に説明のできるビジネスプランの立て方、後半では実際に助成金を取得した団体から取得の動機と活用例を紹介した。助成金の活かし方とプラン作成のイメージがつかめた受講者から高い評価を得た。
資料代	2,500円
開催日	5月13日(基礎編)、5月20日(実践編)
受講者	87名
開催場所	生きがいしごとサポートセンター阪神北
①	講師 金森 康 (特)宝塚NPOセンター 内容 ファンドレイジングについて(例:兵庫県CB離陸応援事業)
②	講師 高見一夫 ワーク21企画, 中小企業診断士 内容 他者に説明できるビジネスプランとは
③	講師 高見一夫 ワーク21企画, 中小企業診断士 内容 選定者の視点: そのビジネスプランで大丈夫ですか?
④	講師 谷家裕子 (特)セキュアリティコンサルティング神戸 (平成15年度CB離陸応援事業選定) 内容 ケーススタディ
⑤	講師 寺本弘伸 みるくつく(平成16年度CB離陸応援事業選定) 内容 ケーススタディ
講座タイトル	<b>起業支援講座2「助成金申請書の書き方講座」</b>
テーマ	ひょうごボランティア基金助成制度フレームの説明と、申請書の書き方の個別相談会
趣旨	【ひょうごボランティア基金助成制度】 県内の地域の活性化にむけ、行政とNPOの協働を通じて、より高い効果を得ることができる事業を推進するため、第1年次にNPOが事業企画を提案し、第2年次にNPOが行政の協力を得て事業化計画の立案に当たり、第三年度でNPOと行政が事業を軌道に乗せる3段階の助成プログラムの理解と、手続きの相談をうけ取得までのサポートを実施する。
成果	助成金制度を活用して問題解決や活性化をめざす団体、これから立ち上げようとする団体にとって、新しくなったこの制度を理解し、活用できる方策を共に考える事で、参加者は自団体の活動を客観的に捉えることができ、支援団体は活動の展開を含めた計画に直接関わる事ができた、非常に有意義な説明会と相談会であった。
資料代	無料
開催日	(1)6月20日(2)7月15日
受講者	(1)72名 (2)7団体
開催場所	(1)ソリオ1会議室 (2)生きがいしごとサポートセンター阪神北
講師	(1)ひょうごボランティアプラザ担当者 (2)山本麗子・金森康・小野靖子
内容	(1)ひょうごボランティア基金助成制度説明会 (2)「助成金申請書の書き方講座」 個別相談会



講座タイトル	<b>福祉系コミュニティ・ビジネス起業支援講座</b> 「困った事は先輩に聞こう講座」(5回)
テーマ	福祉系コミュニティ・ビジネスを例に、「労務面からみたマネジメント」と「起業事例のケーススタディ」を行う。
趣旨	人件費の割合が高い福祉系コミュニティ・ビジネスのケーススタディを通じて、組織内のトラブルを未然に防ぐマネジメント、組織デザインと人材活用マネジメント、ボランティア・マネジメント、就業規則のあり方を考える。同時に、起業相談の多い福祉系コミュニティ・ビジネスの事業イメージを醸成する。
成果	介護、障害者を対象とした福祉系ビジネスは他の分野に比べて有給スタッフの割合が多いため、特に労務面についての発生率が高い。今回の講座では表面化しにくい、このような問題を予防するための専門知識と、実際に直面した団体からの事例紹介を盛り込んだ事により、受講者から具体的な解決の糸口が得られたと大変好評であった。
資料代	3,000円
開催日	(1)10月27日 (2)11月14日 (3)12月12日
受講者	(1)54名 (2)15名 (3)16名
開催場所	生きがいしごとサポートセンター阪神北
①	講師 有田裕彦 社会保険労務士 内容 労務から始まる本当のマネジメント
②	講師 有田裕彦 社会保険労務士 内容 トラブルをおこさない就業規則の作り方
③	講師 小林房子 (特)友一友理事長 内容 ケーススタディ:今だから話せる 設立後のあんな事こんな事
④	講師 浅野博之 (特)国際エンゼル協会事務局長 内容 ボランティアの人材活用マネジメント
⑤	講師 久恒千里 (特)さわやか北摂理事長 内容 ケーススタディ:これから始める人のための介護ビジネス



講座タイトル	<b>コミュニティ・ビジネスと情報発信</b> 「NPOのためのブログ活用講座」(5回)
テーマ	Blogベースのコミュニティ・ビジネスの情報発信について
趣旨	ホームページビルダーなどのHP作成ソフトを利用して、Webでの情報発信の壁が高いコミュニティ・ビジネスに対して、スタッフがどこでも・誰でも作成できるBlogを利用した情報発信の方法について
成果	これまでのホームページ作成講座では根付かなかったWebベースの情報発信が、Blog講座の受講団体の導入率・更新率は高く、受講者からも「これなら私達でも作成・更新できる」と、大変好評であった。
資料代	1,000円
開催日	(1)7月21日 (2)7月22日 (3)10月11日 (4)10月13日 (5)12月16日
受講者	(1)4名 (2)5名 (3)5名 (4)4名 (5)6名
	生きがいしごとサポートセンター阪神北
①	講師 金森康 高瀬千秋 (特)宝塚NPOセンター 内容 Blogの基本機能説明・実際にBlogを作成する・Blogを応用したコミュニティ・ビジネスの情報発信について
②	講師 金森康 高瀬千秋 (特)宝塚NPOセンター 内容 Blogの基本機能説明・実際にBlogを作成する・Blogを応用したコミュニティ・ビジネスの情報発信について
③	講師 金森康 高瀬千秋 (特)宝塚NPOセンター 内容 Blogの基本機能説明・実際にBlogを作成する・Blogを応用したコミュニティ・ビジネスの情報発信について
④	講師 金森康 高瀬千秋 (特)宝塚NPOセンター 内容 Blogの基本機能説明・実際にBlogを作成する・Blogを応用したコミュニティ・ビジネスの情報発信について
⑤	講師 金森康 (特)宝塚NPOセンター 内容 Blogの基本機能説明・実際にBlogを作成する・Blogを応用したコミュニティ・ビジネスの情報発信について



講座タイトル	NPO法人設立実務「年度末“忘れずに”やること講座」(3回)
テーマ	年度末に係る一連の書類作成と諸手続きについて
趣旨	NPO法人設立後、初めて年度末を迎える団体を中心に、事業報告書、決算、税務などのポイント運営の方法、変更に伴う届出の手順など事務局として年度末にやっておくことについて、実例を踏まえて分かりやすく解説する
成果	NPO法人を設立した後、意外に見落とされがちな問題に焦点を当てたことで、受講された(特に今年度設立した)団体の事務局スタッフからこれまで不安に思っていたことがかなり解決したという評価をいただいた。それと質疑応答の時間を多くとった事で、団体どうして情報が共有でき交流が深まった。
資料代	2,000円
開催時期	3月9日
受講者	72名
開催場所	生きがいしごとサポートセンター阪神北
①	講師 吹曾 幸雄 (特)宝塚NPOセンター 内容 年度末提出書類の確認と作成方法
②	講師 吹曾 幸雄 (特)宝塚NPOセンター 内容 変更に伴う諸手続き
③	講師 丸山美鈴 税理士 内容 収支決算書、貸借対照表、財産目録の作成方法



#### 4) コミュニティ・ビジネス・フェア 2005

生きがいしごと SC 合同フォーラム

##### 『「コミュニティ・ビジネス・フェア 2005」-地域を活かすしごとの創造』

日時：2005年9月19日(月・祝日) 10:30~17:00

場所：神戸ハーバーランド・スペースシアター

主催：コミュニティ・ビジネスフェア実行委員会

■参加 2,000名

■プログラム

11:00~オープニングセレモニー”よさこい踊り”by 颯爽 JAPAN

11:30~コミュニティ・ビジネス団体発表 (5団体)

13:30~基調講演 石毛宏典 (四国アイランドリーグ代表)

15:20~コミュニティ・ビジネス団体発表 (5団体)

\*10:30~17:00 まで展示ブースにて各団体の紹介や物品販売なども行なっていました

■参加費 無料



2005年9月19日(月)ハーバーランドのスペースシアターにてコミュニティ・ビジネスフェア 2005 が開催されました。

11:00 より“颯爽 JAPAN”のよさこい踊りで景気よく開幕 引き続き、各団体の事例発表です。

写真は“仕立屋 MIKI”さん。ユニバーサルファッションの提案や仕立てをしていらっしゃる団体さんです。今回は、ずれないひざかけとか、着脱する際に体に無理がかからない工夫がされた洋服などをご紹介。

(急遽、モデルをお引き受けいただいたみなさんありがとうございます)

13:30 から今回のメインイベントである四国アイランドリーグ代表の“石毛 宏典氏”の講演。

写真は、野球少年からの質問に答えている石毛氏です。まだまだ、プロ野球選手としてのイメージが強いのですが、今回見た石毛氏は選手としての雰囲気はまったくありませんでした。現在、着手しておられる四国アイランドリーグのお話を熱く熱く語って下さいました。(一度、観戦に行きたい)

その他、展示即売なども行なわれました。クッキー、うどん、観葉植物、キルト、フェアトレードのコーヒーなど..



## 5) コミュニティ・ビジネス・コンサルティング事業

生きがいしごと SC 阪神北事業とあわせて CB コンサルティング事業を実施しました。合計は33件。主なコンサルティング内容は下記の通り。

- ・ NPO 会計事務の基本について
- ・ 収支予算書、財産目録、貸借対照表
- ・ NPO 法人の決算報告について
- ・ コミュニティビジネスの事業計画について
- ・ 労務関連全般について
- ・ Web で情報発信について など

編集・発行

特定非営利活動法人宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL/FAX 0797-85-7766/7799

E-mail [zukanpo@hnpo.net](mailto:zukanpo@hnpo.net)

URL <http://www.hnpo.net/n/zukanpo/>

生きがいしごとサポートセンター阪神北

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL/FAX 0797-87-4350/4351

E-mail [cdc@hnpo.net](mailto:cdc@hnpo.net)

URL <http://www.hnpo.net/n/cdc/>



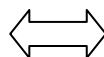
みるくっく宝塚

〒665-0852

宝塚市売布 2-5-1

ピピアめふ 1-6F

TEL/FAX 0797-87-1556



阪神北 NPO ハウス

〒665-0021

宝塚市中洲 1-7-20

ハイツ村上 101、203 号

阪急逆瀬川駅から南口方面へ徒歩7分